

## 柏崎女谷地区の「<sup>さい</sup> <sup>かみ</sup>賽の神」

### 柏崎周辺農業水利事業所

1月15日（木）に市野新田ダムの  
 地元女谷地区<sup>おなだに</sup>の上野集落<sup>かみの</sup>において小  
 正月行事「<sup>さい</sup> <sup>かみ</sup>賽の神」が行われました。  
 「賽の神」は、五穀豊穡と無病息災を  
 祈る行事で、<sup>としがみさま</sup>歳神様の送り火として全  
 国各地で行われる「どんど焼き」と同  
 じ行事のようです。ちなみに、全国的  
 には「どんど焼き」の名称が多数派で、  
 北陸、東海、京都では「<sup>さぎちよう</sup>左義長」、長  
 野・山梨では「道祖神祭」とも呼ばれ  
 ているようです。<sup>注1)</sup>



当日は、地元集落から区長さん他7  
 ~8名、長岡技術科学大学の学生3名、  
 事業所から4名などが参加しました。  
 学生は、ボランティアサークルに所属  
 しており、中越地震の際に立ち上がったサークルとのことでした。中越地震がきっかけで上野集落とのつながりができ、現在でも「賽の神」に限らず、女谷のお祭りやイベントのお手伝いに来ているそうです。



学生が自発的に農村と関わりを持ち、地域の伝統行事を支援している話を聞き非常にうれしく思いました。一方で、隣の集落では、今年は人手不足のため「賽の神」が中止になったようです。過疎化とともに持続できなくなる伝統文化について考えさせられる今年の「賽の神」でした。

注1) 出展：小正月行事「どんど焼き」の全国（世界）調査集計（平成27年版）NPO 法人地域資料デジタル化研究会